

2013年10月31日

電通と昭文社『ことりっぷ』が「女子力」をキーワードに地域活性化を後押しする 「もっと女子旅プロジェクト」を開始

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）は、2006年に立ち上げた地域ブランドプロジェクト abic（アビック）^{※1}の顧客向けサービスを通して得た知見をベースに、新たに昭文社『ことりっぷ』と連携することで、「女子力」によって地域活性化を後押しする「もっと女子旅プロジェクト」を10月31日に立ち上げます。

全国の地域が異なる10の地方自治体に対して地域ブランドの構築や地域活性化に関わるコンサルティング・サービスをご提供したところ、各地域には共通の課題が存在し、そのひとつが女性の観光誘致、すなわち女性の観光ニーズにいかに対応していくかというものでした。

そこで当社は、地域の共通課題に取り組んでいくために、女子旅について豊富な知見を有する昭文社『ことりっぷ』^{※2}と連携し、「もっと女子旅プロジェクト」を立ち上げることにしました。今後も、より専門的な研究や新しいサービスを開発し、地方自治体を中心とした顧客にコンサルティング・サービスを提供してまいります。

なお、本プロジェクトの立ち上げに当たり、8月中旬～9月上旬にかけて、『ことりっぷ』メルマガ会員のうち20～40代の“ことりーな”^{※3}女性300名を対象に、「女子旅計画」をテーマにしたアンケートを行いました。

その結果、ことりーなは、旅行前にガイドブックやインターネットからあらゆる情報を集め、自らも情報を発信しながら自分にぴったりの旅行をプランニングしていることが明らかになりました。彼女たちはパッケージ化されたものでない、自分のためにカスタマイズした旅行プランを用意する傾向があり、とりわけ「現地ならではの情報」に敏感で、現地の人からのクチコミが女子旅のエッセンスだと感じています。

また、ことりーなの半数弱は年4回以上の旅行を楽しみ、ときにはハイシーズンを避けるために有給休暇を取得することもある、旅行にこだわりの強い女性であるということが分かりました。これら調査結果の詳細は URL: <http://www.dentsu.co.jp/abic/co-trip/index.html> をご覧ください。

今後「もっと女子旅プロジェクト」では、abic独自のプログラムに、『ことりっぷ』の旅好き女子ネットワークと女子旅に関する知見を組み込み、「女子力」をキーワードにした新しいサービスを開発していくことで、地域活性化や地域・企業のブランド力向上に資する提案を行って

まいります。

※1 abic（アビック）とは、ブランド戦略論の専門家である慶應義塾大学 和田充夫名誉教授を中心とする大学研究者との協働により、地域ブランドを開発するプロジェクトのことです。地域ブランド活性化事例の研究や地域ブランドに関する生活者への調査等をベースに、産品ブランドの開発や、「訪れたい」「住みたい」と感じてもらえる「地域そのもの」のブランドづくりを支援する高度なコンサルティング・サービスを提供しています。

※2 および※3 昭文社『ことりっぷ』は、20代後半から30代前半の女性にターゲットを絞り、2泊3日の週末旅を提案するガイドブックです。累計で900万部を売り上げるなど、女子旅市場を牽引するガイドブックとしてのポジションを確立しています。また、『ことりっぷ』ファンの旅好きな女子たちを「ことりーな」と名付けて、女性のニーズを反映する仕組みを構築しています。

以 上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報1部
〒100-8555 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL : 03-6216-8041

【事業内容に関する問い合わせ先】

株式会社電通 中部支社
地域ブランド開発プロジェクト
abic 事務局 abic@dentsu.co.jp
〒460-0001 愛知県名古屋市中区栄 1-1-1
TEL : 052-263-8312